airiti

DOI: 10.6205/jpllat.201812_(44).0009

否定表現的中譯考察
—以『雪國』的中文譯本為例—

林寄雯
淡江大學日本語文學系副教授

摘要

一般認為日語是一種善於以否定表現而非肯定表現來表達的語言。針對日語的否定表現，有不少論述是從否定表現的構造和功能進行分析，還有一些論述是從對照研究的觀點來分析日語的否定表現。

日語否定表現的否定辭有「ない、ず、ぬ、まい、な、ません」。日語否定表現的中文譯辭中「不、沒（沒有）、別」的使用頻率較高。其餘的中文否定辭包括有「未、無、非、莫、甭、勿、休、毋」等辭。另外，詞彙用語的否定辭有「不、無、非、未、否」。

本論文在對照研究所獲致成果的基礎上，試以記述翻譯研究的方法，就日語否定表現的中文譯語進行考察。考察對象為台灣出版的『雪國』中文譯本。就『雪國』的三個譯本的中文譯語進行考察。此外，考察的焦點放在日語否定表現譯成中文肯定表現的翻譯例，藉此探究否定表現中文譯語的具體使用情形。

關鍵字：否定表現、肯定表現、否定辭、語用論、機器翻譯

airiti

DOI: 10.6205/jpllat.201812_(44).0009

The Investigation about Chinese translation from Japanese negative expression: The Chinese translate of "Snow Country" as sample

Lin Chi-wen
Associate Professor, Tamkang University, Taiwan

Abstract

Japanese prefer negative expression to affirmative relatively. We can see many analyses about the structure and function of Japanese negative expression. We also can see many analyses of contrastive study about Chinese-Japanese negative expression.

There are many Japanese negative markers as follow "ない、ず、ぬ、まい、な、ません ". The high frequency usage of Chinese translation markers are "不、沒（沒有）、別". We can also use "未、無、非、莫、甭、勿、休、毋". As vocabulary level, "不、無、非、未、否" are used.

This paper bases on the result of contrastive studies. Using methodology of descriptive translation studies, I surveyed Chinese expression about Japanese negative sentences. I used three Chinese translate versions of Snow Country published in Taiwan. I checked the Chinese expression from every Japanese negative sentence. In addition, this paper also focused on the cases about Japanese negative expression to Chinese affirmative expression and made clear the usage of Chinese translate.

Keywords : negative expression , affirmative, negative markers, pragmatics, machine translation

airiti

DOI: 10.6205/jpllat.201812_(44).0009

否定表現の中国語訳に関する一考察
—『雪国』の中国語訳本を例として—

林寄雯
淡江大学日本語文学科副教授

要旨

日本語は肯定表現より否定表現を好む言語と言われる。日本語の否定表現の構造と機能を分析し、また対照研究の観点から日中両語の否定表現を分析する論が多く見られる。

日本語の否定表現には否定辞として「ない、ず、ぬ、まい、な、ません」がある。日本語の否定表現の中国語訳には「不、没（没有）、別」といった訳語が否定文の否定辞として使われ、その使用頻度が高い。その他、「未、無、非、莫、甭、勿、休、毋」などの否定辞があげられる。また語彙レベルにおいて「不、無、非、未、否」が使用される。

本論は対照研究の成果を踏まえたうえで、記述的翻訳研究の方法から、否定表現の中国語訳を考察するものである。考察の対象は台湾で出版された『雪国』の中国語訳本である。『雪国』の三訳本の中国語訳文から否定表現の訳例を考察する。また、日本語の否定表現を中国語の肯定表現に訳された訳例に焦点を当て、否定表現の中国語訳の具体的な使用状況を明らかにする。

キーワード：否定表現、肯定表現、否定辞、語用論、機械翻訳

airiti

否定表現の中国語訳に関する一考察
—『雪国』の中国語訳本を例として—

林寄雯
淡江大学日本語文学科副教授

1.はじめに

日本語は肯定表現より否定表現を好む言語と言われる。日本語の否定表現の構造と機能を分析し、また対照研究の観点から日中両語の否定表現を分析する論が多く見られる。

日本語の否定表現には否定辞として「ない、ず、ぬ、まい、な、ません」がある。日本語の否定表現の中国語訳には「不、没（没有）、別」といった訳語が否定文の否定辞として使われ、その使用頻度が高い。その他、「未、無、非、莫、甭、勿、休、毋」などの否定辞が挙げられる。また語彙レベルにおいて「不、無、非、未、否」が使用される。

本論は対照研究の成果を踏まえたうえで、記述的翻訳研究の方法から、否定表現の中国語訳を考察するものである。考察の対象は台湾で出版された『雪国』の中国語訳本である。『雪国』の三訳本の中国語訳文から否定表現の訳例を考察する。また、日本語の否定表現を中国語の肯定表現に訳された訳例に焦点を当て、否定表現の中国語訳の具体的な使用状況を明らかにする。

2.日本語の否定表現

人間が外界の変化や出来事を感知して記述・伝達する場合、特別な前提がなければ通例否定表現を使わずに肯定表現を使う。黄憲堂が「否定表現の構造と意味」[1]で、否定の語用論的前提を述べている。

[1] 黄憲堂（2016）『日本語の構文研究　黄憲堂論文集』致良出版社に所収された「否定表現の構造と意味」（初出『日本論叢』第 1 輯 1991 年）」P147-149。

airiti

次に引用する。

（1）a　昨日家内が交通事故に会った。
　　b　昨日家内が交通事故に会わなかった。

ここで言う否定表現が使える「前提」は色々考えられるが、最も一般的とされるのは、話し手が変化や出来事（普通肯定の形）の発生を予想し、またはそれを信じている場合である。(1) b の例で説明すると、話し手の妻が「交通事故に会ったのではないか」と思われるような事態があって、聞き手がその出来事を予想し信じている場合でなければ、(1) b は適切な発話とは言えない。つまり、この場合の否定表現は間違った予想を正すために使われるのである。

森田良行の論述によれば [2]、否定表現を使う前提には「話し手の当初の予想に反している」という共通の発想がある。また、森田は「陳述副詞「ちっとも」「少しも」「ぜんぜん」等自体に、‘予想外、期待はずれ’の意識が感じられるのも、これらの副詞が本来、否定表現的発想の上に成り立つ語だから」と述べている。その上、「「～ない」の否定表現は、客観的叙述を基盤とした肯定表現とは異なって、きわめて主観的な表現である」と否定表現の主観性を強調している。こうした前提によって、否定疑問（～ないの）、勧誘・命令（～ないか）、否定勧誘（～ないところか）、確認（～ないか）、婉曲（～じゃないの？）、推量（～じゃないだろうか）、否定推量（～ないのではないか）、感動・驚嘆（～じゃないか）、否定感動（～ではないのか）、願望・希望（～ないかなあ）、否定願望（～ないといいが）といった否定表現の用法が使われる。

なお、否定表現の主観性に関し、中村芳久が「否定と（間）主観

[2] 森田良行（1977）『基礎日本語I』角川書店 P339-343

airiti

性――認知文法における否定――」[3]で、乳児の情報共有を志向する行動から否定の共感志向性を述べている。「心の理論の初期段階（共感性志向）にヒトのコミュニケーションの起源を求めようとする研究に否定をからめると、否定は、単純に肯定命題と否定命題の関係のようなものではなく、他者の有する情報と自己の有する情報との間の相互作用の問題として位置づけられることになる。」と指摘する。

一方、否定表現を形式から分類すると、文法的否定形式と語彙的否定形式に分けられるが、卜朝暉・池田尚志が「日中機械翻訳における否定文の翻訳」[4]で、「ない」表現の意味分類を五分類にまとめている。五分類の一つ目は、動詞の未然形、形容詞、形容動詞、助動詞「だ」及びサ変動詞の連用形につき、動作・作用・状態などの打ち消しを表す「ない」表現である。二つ目は、「…ないで（ね）」、「…ないで（ください）」の形で、打ち消しの願望あるいは禁止を相手に持ちかける表現である。三つ目は、存在動詞「ある／いる」の否定形である。四つ目は、「ないか、ない」の形で文末に現れ、質問や勧誘を、相手に柔らかく持ちかける表現である。「ではないの」、「ではないかしら」「ではなかろうか」の形で文末に現れ、自問や婉曲な推量などを表す。五つ目には、「てはいけない、かもしれない、せざるをえない」など、さまざまな慣用句に用いられ、固定的な意味用法がある表現が挙げられている。

上記のように形式で否定表現を分類することができるが、否定文が多岐的であることは、語用論または言外の意味に由来することのであろう。つまり、「否定の形を使うからには、それなりの必要性（語用論的前提）が認められるのである。この必要性は、真か偽かという論理学で問題にされる真理値（truth value）の如何に左右されることなく、全く認知上ないし情報伝達上の要因に支配される」[5]のであ

[3] 加藤泰彦等編（2010）『否定と言語理論』開拓社 P424
[4] 卜朝暉・池田尚志（2004）『自然言語処理』Vol.11 P99
[5] 黄憲堂（2016）『日本語の構文研究　黄憲堂論文集』致良出版社に所収された「否定表現の構造と意味」（初出『日本論叢』第 1 輯 1991 年）」P150。

airiti

る。

3.中国語の否定表現

中国語文法に関する重要な著書『中国話的文法』[6]では、中国語の動詞の基本的な特徴は、否定副詞の「不」が付けられることだと説明している。否定を表す副詞に、「不」と「没（有)」が使われ、「没（有)」は動詞の過去形の時にしか使われない。また、副詞の「非(要)」は否定辞ではあるが、意味上は肯定を強く表現するときに使われる。それは「非（要)」は「非、、、、不」の省略だからである。なお、「豈」は反問の否定副詞で、例えば「他豈可以對我這樣？」「豈有此理」「豈敢」といった用例がある。その他、多音節の副詞「不必」「不知」「不妨」「決不」「絶不」「毫不」「並不」が使われる。助動詞である「別」と「甭（不用)」は否定の命令形で、「別」は「不」と「要」の二文字を混合した発音で、「甭」は「不」と「用」の二文字を混合した発音である。なお、否定の「不好意思」は肯定の「好意思」よりもよく使われる。

また、『近代漢語語法研究』[7]では中国古代から使われてきた否定表現の「不」には四種類の使い方があると述べている。一つ目は現代一般の否定として使われる表現である。二つ目は実現に対する否定で、現代の「没」に相当する用法である。例えば「君不見高堂明鏡悲白髪，朝成青絲暮成雪（李白《將進酒》)」の「不」の用法である。三つ目は名詞を否定する用法である。例えば「不人不鬼」である。四つ目の用法は単なる発声の助語で否定の意味がないので、よく間違えられる。例えば、「旁人見你這般疼奴，在奴身邊的多，都氣不憤（《金瓶梅》十二回)」の「氣不憤」は肯定の意味「氣憤」である。現代でも上記の四種類の否定表現が使われている。

---

[6] 趙元任著丁邦新訳（1994)『中国話的文法』學生書局 P335,372 の内容より日本語にまとめたものである。原著 A Grammar of Spoken Chinese（1968 年 University of California Press）は 1980 年に丁邦新によって中国語版に訳された。

[7] 俞光中・植田均（1999)『近代漢語語法研究』學林出版社 P314-325

airiti

石毓智は『肯定和否定的對稱與不對稱』[8]の論で否定を表す例文として次の用例を取り上げる。

① 不像話就不像話吧，像話誰又多給幾個錢呢？
② 人家讓太太送來，我好意思不收下嗎？
③ 他哪裡知道人家是在笑話他。
④ 他這個人死要面子，哪裡會認錯。
⑤ 他拒絕回答這個問題。
⑥ 他懶得去逛公園。

上記の例について石毓智は次のように説明する。①と②は反問の否定で、③と④は疑問詞「哪裡」によって否定を表す。こちらの「哪裡」は「不」に置き換えることができる。⑤と⑥は否定の語句「拒絕」と「懶」を使って否定を表現する。否定辞の「不」と「没」以外に、祈使句にしか使わない「別」「甭」がある。書き言葉として使われる否定辞に「無、莫、勿、未、休、毋」がある。

上記の説明によって、否定辞として使われる「不」「没」のほかに、否定辞でない「哪裡」「拒絕」「懶」も否定の意味を表現できる語句として使われることが分かる。

形態からいえば、日本語の否定辞は述語の後に置く機能語であるのに対し、中国語の否定辞は謂語、状語、補語の前に置く副詞である。否定辞の位置は外国人に中国語を教えるときの重要なポイントとなるが、日中翻訳に関する教材では、否定表現の翻訳方法が教えられ、そのうち、否定表現と肯定表現の問題が日中翻訳教育上の問題点となる。市販の教材に次のような否定表現の翻訳方法が挙げられている。

「詞義的正反表達」陸松齡編著『日漢翻譯藝術』
「否定の表現」香坂順一『中翻日理論練習』
「分不清肯定與否定」龐春蘭編著『日文翻譯進階技法』
「為了修辭而將否定譯成肯定」靖立青『日漢翻譯技巧』

[8] 石毓智（1992）『肯定和否定的對稱與不對稱』 台灣學生書局 P29-31

airiti

「反訳（否定文を肯定文に訳すケース、肯定文を否定文に訳すケース)」高田裕子・毛燕『日中・中日翻訳トレーニングブック』

上記の教材から具体例として次のような例を取り上げる。まず、日本語の否定文を中国語の肯定文に訳す例である。

○この建物の設計は彼にしてもらわなければだめだ。
这座大楼一定要由他来设计。

○新製品の試作は、今月中に終わるのではないかと思う。
我想新產品試產，這個月內是可以完成的。

次は日本語の肯定文を中国語の否定文に訳す例である。

○われわれは、たえず社会に価値を創出し、その信頼に応えるために、公正に行動する必要がある。
为了不断为社会创造价值，不辜负社会对我们的信任，我们该公正行事。

○車内での携帯電話の使用は、他のお客様のご迷惑となりますのでご遠慮願います。
为方便其他乘客乘车，车内请勿使用手机。

なお、前掲の論文「日中機械翻訳における否定文の翻訳」は日中機械翻訳システム jaw/Chinese を開発するための研究である。日本語の否定マーカー「ない」と中国語の「不、没有（没)、別」にそれぞれどういう対応関係があるかを分析し、日中機械翻訳に導入するための否定表現の翻訳方法を見出している。この研究では、日英対訳例文集から抜き出した約 1000 文中の 113 文の否定文に対して、手作業で実験評価した。否定文の命題とモダリティーを分けて、モダリティーを表す否定辞「ない」の翻訳は、開発された日中機械翻訳システムの中国語否定辞の選択規則と否定辞の位置規則を用いて翻訳する。日中翻訳ソフトの否定文に誤訳が多く発生する原因として取

airiti

り上げられたのは、中国語の否定辞の訳し分けと否定辞の文中での語順の生成が大きな問題になるからである。この研究による否定文の機械翻訳の精度は 94%に達している。また、これは、否定焦点が曖昧な場合は曖昧性を保留したまま否定辞の位置を決める翻訳システムである。否定表現の文中での作用範囲、すなわち否定のスコープや焦点の究明は機械翻訳には困難なことである。これらの問題の究明は文脈や語用論的な問題に関わっているからである。

4.否定表現の中国語訳

本節は『雪国』を例に、否定表現の中国語訳を考察する。語彙的否定形式を除いて、文法的否定形式を例に取り上げる。原文のテキストは新潮文庫 2008 年発行 140 刷 [9]を使用する。現在台湾で出版された『雪国』の中国語訳本は 14 冊 [10]ある。そのうち次の 3 冊を用例分析に取り上げる。一冊目は台湾で古い訳本として知られている李永熾訳遠景出版 1978 年初版の訳本である。二冊目は版を重ねて出版された高慧勤訳桂冠図書出版 1998 年初版の訳本である。三冊目は近年多く読まれた葉渭渠訳木馬文化出版 2002 年初版の訳本である。

分析した結果、『雪国』に使われた否定辞には、「ない」、「ぬ」、「ず」、「まい」、「まじい」「ん」（打ち消し助動詞「ぬ」の転）があった。『雪国』の李訳、高訳、葉訳の中国語訳本に、否定辞の「不」「沒」「沒有」「別」「無」「非」「未」「豈不」「甭」が使用された。『雪国』の否定表現の使用例は 785 例である。そのうち、李永熾訳の肯定表

---

[9] 『雪国』の原文は新潮文庫 1947 年発行、2006 年 132 刷改版、2008 年 140 刷のものを使用する。

[10] 國家圖書館と全國圖書書目資訊網での調べによる『雪国』の中国語訳本を年代順で次に示す。1969 年喬遷訳三民出版、1969 年施翠峰訳東方出版、1969 年趙長年訳正文出版、1969 年訳者書かれていない王家出版、1979 年李永熾訳遠景出版、1981 年金溟若・張秀英訳星光出版、1988 年鄭凱訳大嘉出版、1988 年蕭羽文訳志文出版、1990 年石榴紅文字工作坊訳久大出版、1991 年鄭皮耶訳龍和出版、1998 年高慧勤訳桂冠出版、2000 年路耿冰訳華文網出版、2001 年謝政訳華城図書出版、2002 年葉渭渠訳木馬文化出版。

airiti

現に訳された例は 145 例で、原文の否定表現に占められている比率は 18%である。高慧勤訳の肯定表現に訳された例は 161 例で、原文の否定表現に占められている比率は 20%である。葉渭渠訳の肯定表現に訳された例は 160 例で、原文の否定表現に占められている比率は 20%である。

原文の否定表現において、三訳本とも肯定表現に訳された用例は 83 例で、一方、三訳本が肯定表現に訳された総用例数は 236 例に達している。肯定表現の三訳本の総用例数に限っていえば、日本語の否定表現を中国語の肯定表現に訳された比率は 30%で、約 3 分の 1 であることがわかった。言い換えれば、日本語において否定表現で表す意味合いを中国語においては肯定表現で表現される場面が多くあると言える。上記の用例数を次の表 1 と表 2 に示す。

表現	用例数	比率
『雪国』の否定表現	785 例	100%
李訳に肯定表現と訳された	145 例	18%
高訳に肯定表現と訳された	161 例	20%
葉訳に肯定表現と訳された	160 例	20%

表 1 『雪国』の否定表現が肯定表現に訳された李訳、高訳、葉訳の用例数

表現	用例数	比率
『雪国』の否定表現	785 例	100%
三訳本とも肯定表現と訳された	83 例	11%
一訳本か二訳本に肯定表現と訳された	153 例	19%
三訳本に肯定表現と訳された総用例数	236 例	30%

表 2 『雪国』の否定表現が肯定表現に訳された李訳、高訳、葉訳の総用例数

airiti

次に『雪国』の否定表現を中国語の否定表現に訳された通し番号15（未：訳語を示す、以下同）、31（不）、77（没）、114（非）、224（没有）、297（無）、424（別）、643（豈不）、756（甭）の使用例を取り上げる。

15　男が目を動かすか動かさぬうちに、娘はやさしい手つきで直してやっていた。
男人的眼睛欲動未動，那姑娘已雙手柔和地替他弄好。（李訳）（下線は筆者、以下同。）

31　こんな風に見られていることを、葉子は気づくはずがなかった。
葉子當然不會知道，自己給別人這麼打量。（高訳）

77　一週間ばかり人間とろくに口をきいたこともない後だから、人なつかしさが温かく溢れて、女に先ず友情のようなものを感じた。
加上他快一個星期沒跟別人好好閒談了，内心自然熱情洋溢，首先對她流露出一種依戀之情。（葉訳）

114　そうなると一通りのことを究めぬと気のすまないたちゆえ、
而他的脾氣是，凡有喜好，就非窮根追柢弄個明白不可。（高訳）

224　彼女自らはそれを寂しがる様子もないが、島村の目には不思議な哀れとも見えた。
她自己沒有顯露出落寞的樣子，然而在島村的眼裡，卻成了難以想像的哀愁。（葉訳）

297　分かる人もあります。分らんのもあります。
有的可以知道，有的無法分辨得出。（李訳）

424　強情張らないでさらりと水に流せ。
別固執了，乾脆讓一切都付諸東流吧。（葉訳）

643　君が東京でさしずめ落ちつく先きとか、なにをしたいとかいうことくらいきまってないと危いじゃないか。
總之，你要先考慮好在東京的落腳點，還有，打算幹什麼；要不，

airiti

豈不是太危險了嗎？（葉訳）

756 あんたはいいのよ、いらっしゃらなくて。

你算了吧，甭去了。（高訳）

4.1 李訳、高訳、葉訳とも肯定表現に訳された用例

李訳、高訳、葉訳とも肯定表現に訳された 83 個の用例についてまとめる。中国語で肯定表現に訳された用例に、「かもしれない」「しか…ない」「じゃないか」「なければならない」「思いがけない」「にかかわらず」「にちがいない」といった慣用句的な用法、固定的な用法、勧誘、婉曲な推量の用法が多い。肯定表現と訳された訳語を表 3 に示す。

『雪国』の否定表現	李訳、高訳、葉訳の訳語
かもしれない	也許、或許、恐怕、可能、似乎、大概、準是
しか…ない	唯一、僅、只、一定、恐怕、才、就、準
じゃないか	呀、吧、呢、啦、嘛、難道
なければならない	必須、理應、應該、該…還是要…、竟
てくれない？	好吧、行嗎、好嗎、你能…嗎、你替我…好嗎、你替我…吧
てもらえないか	能…嗎、可以…嗎
にちがいない	一定、準是、料定是、斷定準是、斷定

表 3　慣用句的な用法、固定的な用法、勧誘、婉曲な推量の用法が肯定表現に訳された訳語

次に通し番号 14、423 の用例を取り上げる。

14　横寝している男の顔は耳のあたりまでしか鏡に映らなかった。

airiti

李　那横躺的男子只把耳朵一帶投映鏡中。（肯定表現）
高　男人側臥著，窗玻璃只照到他耳朵那裡。（肯定表現）
葉　所以在窗玻璃上只映出側身躺著的那個男人的半邊臉。（肯定表現）

423 それで会いたがって、呼びに来たんじゃないか。
李　想見你，才來叫你。（肯定表現）
高　所以他想見你一面，才打發人來叫你的。（肯定表現）
葉　所以他想見見你，才讓人叫你的嘛。（肯定表現）

上記の通し番号 14 の用例において、「しか…ない」を三訳本とも「只」という訳で統一されている。そして表 3 の「しか…ない」の訳語に、「唯一、一定、恐怕、才、就、準」という訳語は辞書には載っていない訳語となる。辞書の訳語では、『新時代日漢辭典』の「しか」項目の解説と用例の中国語訳に「僅、只、淨」とある。『現代日漢大辭典』の「しか」項目の解説と用例の中国語訳に「僅、只」とある。『萬人現代日華辭典』の「しか」項目の解説と用例の中国語訳に「僅、只」とある。通し番号 423「じゃないか」の用例において、李訳と高訳とも「じゃないか」に当たる訳語がなく、文を肯定文にして表現している。葉訳では中国語の感嘆詞「嘛」をつけて訳している。『雪国』の否定表現「じゃないか」の訳語をみると、中国語の感嘆詞「呀、吧、呢、啦、嘛」をつけて表現されることが多い。

83 個の用例のうち、慣用句的な用法、固定的な用法、勧誘、婉曲な推量の用法のほかに、前後文の意味合いによって判断するような肯定表現の訳語が見られる。「よごれてない」「苦もなく」「雪を積もらせぬ」「見えなくなる」「知らぬ間に」「顔色がなくなった」「飽きずに」などといった用例がある。肯定表現と訳された訳語を表 4 に示す。

『雪国』の否定表現	李訳、高訳、葉訳

airiti

よごれてない	潔潔淨淨、乾淨、潔淨
苦もなく	輕輕易易、輕率地、輕易地
雪を積もらせぬ	防止積雪、怕雪積起來、避免積雪
見えなくなる	消失無踪、埋住了、埋沒
知らぬ間に	悄悄、在自己睡著後、在自己睡著之後
顔色がなくなった	花容失色、臉色刷白、刷地變白了
飽きずに	貪婪地、良久、貪婪地

表 4　前後文の意味合いによって三訳本とも肯定表現に訳された訳語

次に通し番号 254、526 の用例をとりあげる。

254 雪を積もらせぬためであろう、
李　也許為了防止積雪，（肯定表現）
高　也許是怕雪積起來，（肯定表現）
葉　大概為了避免積雪，（肯定表現）

526 知らぬ間に来て泊っていたのかと疑って、島村が自分の寝床を見廻しながら、枕もとの時計を拾うと、まだ六時半だった。
李　島村懷疑她是悄悄住進來，不禁環視自己的被窩，一面拿起枕邊鐘錶，才六點半。（肯定表現）
高　島村疑心她是在自己睡著後來過的夜，便看了看舖蓋。一面拿起枕邊的錶，才六點半。（肯定表現）
葉　島村猜想：她是在自己睡著之後才到這裡過夜的吧？他掃視了一眼自己的睡舖，拿起枕邊的手錶一看，這才六點半鐘。（肯定表現）

上記通し番号 254 の用例において、李訳では積雪を防止するためと訳され、高訳では積雪を恐れるからと訳され、葉訳では積雪を免れるためと訳された。通し番号 526 の用例において、李訳ではこっ

airiti

そり入ってきたと訳され、高訳では自分の寝たあとに泊まりにきたと訳され、葉訳も自分の寝たあとから泊りにきたと訳された。特に通し番号 526 の用例では、前後文の意味合いによって「知らぬ間に」を「自分が寝たあとから」と訳されたほうが中国語として落ち着きのよい文となる。

4.2 一訳本か二訳本に肯定表現と訳された用例

前の論述で述べたように否定表現は語用的、主観的な面を有している。そういった語用的、主観的な表現は中国語において、肯定表現によって表すことが多い。本節では三訳本とも肯定表現に訳された 83 個以外の 153 個の例についてまとめる。前節で三訳本とも前後文の意味合いによって判断するような肯定表現の訳語についてまとめたが、本節は一訳本か二訳本のうち、前後文の意味合いによって判断するような肯定表現の訳語についてまとめる。「行かぬうちに」、「つかめない」、「じっと動かぬ」「果たさず」「さっぱりしない」、「忘れない」、「見ぬ恋」、「心配しなくても」、「止まらぬ」などといった用例がある。肯定表現として訳された訳語を表 5 に示す。

『雪国』の否定表現	一訳本か二訳本に肯定表現に訳された
行かぬうちに	早已（葉訳）
つかめない	撲朔迷離（葉訳）
じっと動かぬ	亭亭玉立（葉訳）
果たさず	食言（李訳）
さっぱりしない	渾渾噩噩（李訳）　迷迷糊糊（葉訳）
忘れない	流連忘返（葉訳）
見ぬ恋	空幻的愛情（李訳）
心配しなくても	少…操心（高訳）
止まらぬ	繼續蔓延（李訳）　還在蔓延（高訳）

表 5 前後文の意味合いによって一訳本か二訳本に肯定表

airiti

現に訳された訳語

つぎに通し番号 1、48、347、584、585 の用例を取り上げる。

1　雪の色はそこまで行かぬうちに闇に呑まれていた。
李　雪色尚未擴展到那邊，已為黑暗吞噬。（否定表現）
高　不等火車開到那裡，雪光就給黑暗吞沒了。（否定表現）
葉　那邊的白雪，早已被黑暗吞噬了。（肯定表現）

48　じっと動かぬその立ち姿から、彼は遠目にも真面目なものを受け取って、
李　僅紋風不動地站在那裡。遠遠看去，島村倒覺得她的立姿極其正經。（否定表現）
高　只是站在那裡一動不動。遠遠看去，仍能感到她的一番真情。（否定表現）
葉　從老遠望去，她那亭亭玉立的姿勢，使他感受到一種真摯的感情。（肯定表現）

347 人のこと心配しなくてもいいわよ。もうじき死ぬから。
李　最好別擔心別人的事。都快要死啦。（否定表現）
高　少替別人操心吧。他已經不久人世了。（肯定表現）
葉　還是不要為別人的事操心好。他已經是快死的人了。（否定表現）

584・585 「知らん。もう知らん。」と、駒子はうんと仰反って転がるものだから、
李　「不知道，已經不知道。」駒子猛然仰身滾動，（否定表現、否定表現）
高　「不知道怎麼來的，記不得了。」駒子一骨碌往後一仰，（否定表現、否定表現）

airiti

葉　「管它呢，哪管得了這許多！」駒子「嗯」地一聲，猛然把身子仰了過來滾動著，（肯定表現、肯定表現）

上記通し番号 1 「そこまで行かぬうちに」の用例において、李訳では雪の色はまだそこまで広がっていないうちにと訳され、高訳では汽車が来るのを待たないうちにと訳され、葉訳では白雪がとっくにと肯定表現に訳された。通し番号 48「じっと動かぬその立ち姿」の用例において、李訳ではそこにじっと立ったまま微動だにしないと訳され、高訳ではそこに立ったまま動かないと訳され、葉訳ではまっすぐ立ったその姿と肯定表現に訳された。通し番号 347「人のこと心配しなくてもいいわよ」の用例において、李訳では人のことを心配する必要はないと訳され、高訳では他人のことで気を遣うことは少なくしなさいと肯定表現に訳され、葉訳では人のことに気を遣わないようにしなさいと訳された。通し番号 584、585 「知らん。もう知らん。」の用例において、李訳ではわかりません、もうわかりませんと訳され、高訳ではどのように来たか分かりません、覚えていないと訳され、葉訳ではかまうものか、そんなことかまっている暇はあるのかと肯定表現の反問に訳された。葉訳の「管它呢」また「哪管得了這許多！」の訳に否定辞は使われていないが、反問句なので意味合い上は否定表現となる。用例数の計算においては否定辞を使わない肯定表現の反問の用例として取り上げる。「管」一文字は「かかわる」という意味であるが、否定辞の「別」とペアで使用される用法がある。例えば「別管閒事（よけいな世話をやくな）」はよく使われる表現である。

4.3「難～」の訳語

本節は否定表現を中国語の「難～」と訳された訳語についてまとめる。「なんともいえぬ」、「滅多に一人で出ない」、「見分けられず」、「なんともいえぬ美しさ」、「忘れずにいる」、「せつなかった」、「情

airiti

なくなって来るのよ」、「わからないわ」、「思えない」、「別れともない」などの用例がある。肯定表現と訳された訳語を表 6 に示す。

『雪国』の否定表現	「難～」と訳された訳語
なんともいえぬ	難以形容（李訳）
滅多に一人で出ない	難得一個人來（高訳）
見分けられず	難分（李訳）
なんともいえぬ美しさ	難以言喻的美（李訳）
忘れずにいる	難以或忘（李訳）難以忘懷（葉訳）
せつなかった	難過（李訳、葉訳）難受（高訳）
情なくなって来るのよ	真是難受（李訳） 心裡怪難受的（葉訳）
わからないわ	實在難捉摸啊（葉訳）
思えない	難以相信（葉訳）
別れともない	難捨難分（高訳、葉訳）

表 6「難～」と訳された訳語

次に通し番号 69、563 の用例を取り上げる。

69　宿屋の客の座敷へなど滅多に一人で出ないけれども、
李　她很少獨個兒到旅館的客人房間去，（肯定表現）
高　她難得一個人來旅館應酬客人，（肯定表現）
葉　雖然她不常一個人去客棧旅客的房間，（否定表現）

563　分からないわ、東京の人は複雑で。
李　真不懂，東京人真複雑。（否定表現）
高　我真弄不懂，東京人太複雑了。（否定表現）
葉　東京人真複雑，實在難捉摸啊。（肯定表現）

airiti

上記通し番号 69「滅多に一人で出ない」の用例において、李訳では一人で行くことが少ないと肯定表現に訳され、高訳では一人で来るのは珍しいと肯定表現に訳され、葉訳では一人ではあまり行かないと否定表現に訳された。通し番号 563「分からないわ」の用例において、李訳ではほんとうに理解できないと訳され、高訳ではほんとうに理解できないと訳され、葉訳では把握するのは難しいと肯定表現に訳された。中国語では、「～がたい」という表現で日本語の否定表現を表す例が多数あることがわかる。『基礎中国語辞典』の「难（難）」の項目に、「むずかしい、困難である、…するわけにはゆかない、…しがたい、…しかねる、…するのが不快だ、…しづらい」という解釈で、中国語の否定辞ではないが、意味合いにはマイナスな表現である。

4.4「哪～」の訳語

本節は否定表現を中国語の「哪～」と訳された訳語についてまとめる。「気乗りするなんてことがなくなるよ」、「～ほど安楽なことはなかった」、「そうはいかないわ」、「墓なんかちっとも見たくないんじゃないの」、「そんなんで帰れやしないよ」、「分からない」、「持って歩けやしないじゃないの」、「あんな…人ないわ」、「眠るどころでなかった」などの用例がある。「哪～」は「どうして」という反語の意味で、「哪～」を含まれた肯定文は語用からいえば、否定の意味合いとなる。次に肯定表現の反問と訳された訳語を表 7 に示す。

『雪国』の否定表現	「哪～」と訳された訳語
気乗りするなんてことがなくなるよ	哪還有興致（高訳）
～ほど安楽なことはなかった	哪有比這更輕鬆的事（高訳）
そうはいかないわ	哪那麼簡單（高訳）
墓なんかちっとも見たくない	哪兒有什麼誠心想去看墳呢

airiti

んじゃないの	（高訳）
そんなんで帰れやしないよ	哪能回去呢（高訳）
分からない	哪兒懂（高訳）
持って歩けやしないじゃないの	哪能隨身帶著走（高訳）
あんな…人ないわ	哪有（高訳）哪有人（葉訳）
眠るどころでなかった	哪還能睡得著（高訳）

表 7　「哪～」と訳された訳語

次に通し番号 98、690 の用例を取り上げる。

98　話に気乗りするなんてことがなくなるよ。
李　也提不起勁來說話。（否定表現）
高　哪裡還有興致同你聊天！（肯定表現）
葉　也不會有興致跟你聊天了。（否定表現）

690　あんな失礼なことを言う人ないわ。
李　沒有人會說那樣沒禮貌的話。（否定表現）
高　哪有說話這麼不禮貌的？（肯定表現）
葉　哪有人講話像你這樣冒失的。（肯定表現）

上記通し番号 98「話に気乗りするなんてことがなくなるよ」の用例において、高訳では気乗りして、あなたとおしゃべりする気持ちがどこにあるのかと肯定表現の反問に訳された。通し番号 690「あんな失礼なことを言う人ないわ」の用例において、高訳ではこんな失礼なことをいう人はどこにいるのかと肯定表現の反問に訳され、葉訳ではこのように失礼なことをいう人はどこにいるのかと肯定表現の反問に訳された。ちなみに、「失礼」という語彙において、李訳は否定の「沒禮貌」と訳され、高訳は否定の「不禮貌」と訳され、

airiti

葉訳は肯定の「冒失」という訳語となる。表 7 の訳語を見れば、葉訳が 1 例だけでほかの 9 例が高訳の訳語である。中国語の「哪～」という表現で日本語の否定表現を表す例は高訳のよく使われる訳語だとわかる。『基礎中国語辞典』の「哪」の項目に、「どうして…であろうか、どこに…があろうか」という解釈である。また、『現代中日辞典』の解釈では、「どうして、反語となる」とある。

4.5「怎麼」「怎能」の訳語

本節は否定表現を中国語の「怎麼」「怎能」と訳された訳語についてまとめる。「とうてい貰えないだろうが」、「なんにもおっしゃれないでしょう？」、「いけない」、「しかたがない」、「そんなんで帰れやしないよ」などの用例がある。次に肯定表現の反問と訳された訳語を表 8 に示す。

『雪国』の否定表現	「怎麼」「怎能」と訳された訳語
とうてい貰えないだろうが	怎麼可能叫來呢（高訳）
なんにもおっしゃれないでしょう	怎麼說得出口呢（李訳） 怎麼開得了口　（高訳） 怎麼好意思開口呢（葉訳）
いけない	怎麼能（高訳）
しかたがない	怎麼辦（高訳）」
そんなんで帰れやしないよ	怎能回去呢（葉訳）

表 8　「怎麼」「怎能」と訳された訳語

つぎに通し番号 466、587 の用例を取り上げる。

466　そうでもするよりしかたがないでしょう。
李　也只好這樣了。（肯定表現）

airiti

高　要不，怎麼辦？（肯定表現）
葉　也只好這個樣子，沒有別的辦法了。（否定表現）

587　そんなんで帰れやしないよ。
李　這樣怎能回去。（肯定表現）
高　你這個樣子，哪能回去呢？（肯定表現）
葉　這副樣子，怎能回去呢。（肯定表現）

上記の通し番号 466「そうでもするよりしかたがないでしょう」の用例において、李訳ではそうすると肯定表現に訳され、高訳ではそうでなければ、どうするのかと肯定表現の反問に訳された。「要不」という訳語は「そうでもするより」といった箇所を訳した訳語で、「しかたがない」を「怎麼辦」と訳した。通し番号 587「帰れやしない」において、李訳ではどうして帰れるのかと訳され、高訳では帰れるところはどこにあるのかと訳され、葉訳も李訳と同じ訳でどうして帰れるのかと訳された。中国語の肯定表現の疑問形をもって日本語の否定表現を表すことがわかる。『現代中日辞典』の「怎么」の項目に、「（反問を表す）どうして…であろうか。〈怎么能考中呢？〉どうして及第できようか。とうてい及第できないの意を含む」という解釈である。意味合い上「怎麼」「怎能」は否定表現を表す語句になる。

5.おわりに

日本語は否定表現を好む言語と言われる。また、否定表現が使用される前提は話し手が予想外と思われる意識が働いたためで、否定表現はきわめて主観的な表現である。否定辞として使われる表現は一つではなく、日本語も中国語も否定辞の多様性を見せている。

『雪国』の否定表現を分析した結果、否定表現は全 785 例ある。李訳、高訳、葉訳によって肯定表現に訳された中国語訳の総用例数

airiti

は 236 例で、約 3 分の 1 の比率となる。そのうち、三訳本とも肯定表現に訳された用例数は 83 例で、約 10 分の 1 となる。総用例数 236 例で約 3 分の 1 の比率からみれば、日本語の否定表現を中国語の肯定表現で表現する比率は高いと言えよう。一方、日本語の否定表現を中国語の肯定表現によって訳された表現方法は訳者によってばらつきが大きいことがわかる。なお、中国語訳が肯定表現と翻訳された用例数の内訳をみると、李訳は 145 例で約 5 分の 1 弱の比率を占める。高訳は 161 例で 5 分の 1 の比率を占める、葉訳は 160 例で 5 分の 1 の比率を占める。

『雪国』の李訳、高訳、葉訳の中国語訳本に、否定辞の「不」「沒」「沒有」「別」「無」「非」「未」「豈不」「甭」が使用された。本論で注目した肯定表現に訳された例をみると、前後文に合わせた語義的な「撲朔迷離」「亭亭玉立」「管它呢」「貪婪地」「流連忘返」「食言」「渾渾噩噩」「 迷迷糊糊」などの語句に訳された訳語が目立った。これらの訳語は機械翻訳では取り扱いにくい訳語と言えよう。また、「難～」「哪～」「怎麼」「怎能」といった中国語の否定辞を使わず、意味合い上否定的な語句に訳された訳語が多い。特に、「難～」が否定表現の中国語訳語としてしばしば使われた例は本論に取り上げた用例によって明らかにした。ちなみに、『雪国』を鑑賞する上でのキーワード「徒労」も否定的な意味合いが含まれている。

また、辞書の編纂において、文学作品の中国語訳に使われた訳語が活かされるべきである。本論で取り上げた「しか…ない」の中国語訳を例としていえば、「僅、只、淨」だけではなく、「唯一、一定、恐怕、才、就、準」の訳例も積極的に取り入れるべきである。

一方、日本語の肯定表現が中国語の否定表現に訳された例も数多くある。例えば、「黙ってしまった（不言語了）」「困ります（沒法子）」「悪かった（對不起）」「止めた（不去）」「言えば言える（未嘗不可）」「追いつめる（逼得束手無策）」「ほっときなさい（甭打聽了）」「いやよ（別這樣嘛）」などがある。語彙レベルでは「いいなずけ（未婚

airiti

夫)」、「厚かましさ（無恥)」「時々（不時)」などがある。

否定表現の中国語訳は多岐多様で、より多くの用例をまとめることによって、否定表現の中国語訳の現状をさらに究明することを今後の課題にしたい。

（本稿は 2017 年 12 月、輔仁大学で開催された「2017 年度輔仁大学日本語文学科・台湾日本語文学会国際シンポジウム」で口頭発表した内容に大幅に加筆し、訂正をおこなったものである。）

参考文献（筆者名五十音順）

沖森卓也・蘇紅編著（2014)『中国語と日本語』朝倉書店
加藤泰彦等編（2010)『否定と言語理論』開拓社
北浦藤郎・蘇英哲・鄭正浩編著（1991)『基礎中国語辞典』講談社
金田一春彦編（1976)『日本語動詞のアスペクト』むぎ書房
香坂順一・太田辰夫共著（1961)『現代中日辞典』増訂版光生館
黄憲堂（2016)『日本語の構文研究　黄憲堂論文集』致良出版社
謝逸朗主編（1997)『萬人現代日華辭典』萬人出版社
鈴木進一（2015)「中国語の進行形否定表現について―テキスト・文法書における否定規則の違い―」神奈川大学心理・教育研究論集
石毓智（1992)『肯定和否定的對稱與不對稱』 台灣學生書局
宋文軍主編（1992)『現代日漢大辭典』大新書局
趙元任著丁邦新訳（1994)『中国話的文法』學生書局
陳伯陶主編（2001)『新時代日漢辭典』修訂新版大新書局
時枝誠記（1975)『文法・文章論』岩波書店
卜朝暉・池田尚志（2004)『自然言語処理』Vol.11
藤濤文子監修・編訳（2013)『翻訳研究のキーワード』研究社
森田良行（1977)『基礎日本語I』角川書店
俞光中・植田均（1999)『近代漢語語法研究』學林出版社

airiti

林寄雯（2016）「日中両語における翻訳研究への試み——機能主義翻訳理論の観点から受身表現を考察する——」（馬耀輝編『日本語の様々な姿を考える　黄憲堂記念論文集』所収）致良出版社
Jeremy Munday 著鳥飼玖美子監訳（2009）『翻訳學入門』みすず書房
Susan Bassnett 著林為正譯（2016）『翻譯研究』五南出版

※2018 年 8 月 30 日原稿受理　2018 年 9 月 27 日審査通過